個人署名とクライアント証明

国文学研究資料館で電子証明書を
個人とクライアントに対して発行した
場合の効用について

国文学研究資料館
前田光教
maeda@nijl.ac.jp

背景

- 教員32名、職員約60名
  - 学生10名(所属は総研大)
  - ほとんどが文系
- L2スイッチでMACアドレス認証
  - 新規･変更･削除接続申請
- 電子ファイルはメールで交換

電子メール

- 個人特定の手段のひとつ
- 館外からはSSL-VPNでメールサーバに接続
- 館外メールアドレスでの送信
- 電子ファイルはメールで交換
  - 圧縮しない、パスワードをかけない
  - アジア圏と交流が多い
  - 一部はファイルサーバを利用

電子個人証明書

- NAREGI-CA
  - ウェブ申請
  - 配布の必要がない
- 商用または自己認証書
  - 個人情報を提供する必要がある
  - USBメモリ等で配布が必要
  - 発行までに時間がかかる。。。

個人証明の効用

- メールでの否認防止
  - 添付ファイルを容認しやすい
  - 館外メールアドレス利用時でも証明
- UPKIで連携すれば
  - 各所での接続申請の必要なし
  - 国文研であることの証明
  - 障害時の個人特定

クライアント接続申請

- MACアドレスを記入
  - 申請者
  - 利用場所
  - OS(バージョン)
  - etc.
- IPアドレスを配布
- 資産管理はしていない

電子クライアント証明書

- NAREGI-CA
  - ウェブ申請時にMACアドレスを記入
  - 配布の必要がない
- 商用または自己認証局
  - MACアドレスの登録
  - USBメモリ等で配布が必要
  - 発行までに時間がかかる。。。

クライアント証明書の効用

- UPKIで連携しない
  - 効用がない?
- UPKIで連携すれば
  - 各所での接続申請の必要なし
  - 国文研登録PCであることの証明
  - 障害時のPC特定

個人・クライアント証明書の連携

- SSOの代替になるか?
- なりすましが難しくなる
- 共有PCでの個人特定
- 譲渡等による不明や紛失が減る
- E-Learningによる視聴と学生の特定

課題

- ほとんど文系
  - コンピュータへの理解がない
  - 文献の電子化やDB化の推進
- 電子証明書
  - 仕組みや効用を理解できるのか
  - 電子メールの署名は無理か?
- UPKIで連携してくれるのか?
  - クライアント証明書を認めてくれるのか?

まとめ

- 証明書は有効
- UPKIによる連携はまだまだ
- NAREGI-CAを導入するほどでもない?
  - 小規模で閉じられた環境になってしまう